

## 2023年度 授業改善アンケート第2Q・前期「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	学生自由意見記述
こころの科学	2 Q	吉澤 英里	アンケートに回答していただき、ありがとうございます。この科目では、毎回最後にコメントや要望を書いてもらい、次の回にそれを反映・フィードバックするという形式をとっていました。それでも、「満足できなかった」という回答が2%、「あまり満足できなかった」という回答が4%ありました。頂いたコメントを踏まえつつ、次年度はさらに満足度を上げるべく工夫をします。
芸術へのアプローチ	2 Q	梅田 力	開設初年度の講義で、手探り状態の部分もあったが、受講した学生は積極的な態度で講義に参加してくれて、充実した講義が出来たと感じている。授業ノートを書く時間がもう少し欲しいとの意見があったので、時間配分を気をつけた。また、デザイン学科以外の学生にもっと受講してもらえるように、シラバスを充実させてアピールしていきたい。
法学入門 (M)	2 Q	青山 浩之	法学入門は、第2クォーター水曜日2講目と金曜日5・6講目の科目で、履修者21名（全体59名）、平均出席者31名（平均出席率83.6%）という状況で、回答者が20名（経営回答率95.2%）であった。授業スキルの評価は、特に設問1「シラバス」設問では好評価を受けた。授業の全体印象に関する評価では、とくに設問8「理解度」設問9「熱意をもって授業に取り組んだ」については好評価であった。これからも興味や関心を持てるように講義を改善していきたい。
法学入門 (S・D・A)	2 Q	青山 浩之	法学入門は、第2クォーター水曜日2講目と金曜日5・6講目の科目で、履修者38名（全体59名）、平均出席者31名（平均出席率83.6%）という状況で、回答者が32名（経営回答率84.2%）であった。授業スキルの評価は、設問1「シラバス」設問5「資料・教科書」では好評価を受けた。授業の全体印象に関する評価では、設問9「熱意をもって授業に取り組んだ」については好評価であった。設問11「自由記述」では「スライドの配布資料の文字が小さくて見るのが大変」と指摘を受けたので、配布資料を見やすく改善し、1年生の履修科目であるので、興味や関心を持てるように工夫していきたい。
政治学入門	2 Q	後藤 啓倫	受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。アンケートの回答にご協力いただきありがとうございます。授業をしっかりと聞いたうえでコメントを本当にありがとうございます。毎回の授業ではとても重要な論点に関する質問をしていただいて、私自身も政治に対する理解を深めることができました。政治のことをより身近に感じてもらえるよう、皆さんからいただいた貴重なご意見を、今後の授業に生かしてまいりたいと思います。
日本国憲法 (M)	2 Q	青山 浩之	日本国憲法は、第2クォーター木曜日1講目と金曜日4講目の科目で、履修者94名、平均出席者75.2名（平均出席率80%）という状況で、回答者が84名であった。前年より平均出席率が1%増加と出席状況が改善した。授業スキルの評価は、特に設問1「シラバス」設問4「板書等」設問5「資料・教科書」では好評価を受けた。授業の全体印象に関する評価では、設問9「熱意をもって授業に取り組んだ」設問10「全体満足」は好評価を受けました。設問11「自由記述」では「小さくて書き込みをするのが大変」「復習時間が少し長く感じました」と指摘を受けたので、これからも興味や関心を持てるように工夫していきたい。
日本国憲法 (S・D・A)	2 Q	後藤 啓倫	受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。アンケートの回答にご協力いただきありがとうございます。毎回の授業ではお題なしの自由な感想を提出してもらおうといった難しめの作業をしてもらっていましたが、回を重ねるごとに、コメントや質問の内容が鋭くなり、皆さんの成長を感じることができました。憲法のことをより身近に感じてもらえるよう、皆さんからいただいた貴重なご意見を、今後の授業に生かしてまいりたいと思います。
数学入門	2 Q	横山 哲也	板書を見やすいように工夫する。
統計学入門 (M)	2 Q	伊藤 裕康	授業内容について学生が理解しているかどうかを確認するために、練習問題の解答やチャットでの回答により行いましたが、まだ不十分であったと思います。もっと頻繁に確認を行いたいと思います。
統計学入門 (S)	2 Q	伊藤 裕康	授業内容について学生が理解しているかどうかを確認するために、練習問題の解答やチャットでの回答により行いましたが、まだ不十分であったと思います。もっと頻繁に確認を行いたいと思います。
統計学入門 (D)	2 Q	伊藤 裕康	授業内容について学生が理解しているかどうかを確認するために、練習問題の解答やチャットでの回答により行いましたが、まだ不十分であったと思います。もっと頻繁に確認を行いたいと思います。
統計学入門 (A)	2 Q	伊藤 裕康	授業内容について学生が理解しているかどうかを確認するために、練習問題の解答やチャットでの回答により行いましたが、まだ不十分であったと思います。もっと頻繁に確認を行いたいと思います。

環境学入門	2 Q	吉田 淳一	講義内容・資料・進め方等は概ね満足してもらえらるレベルであったように思われる。地球環境問題に少しでも関心を持ってもらい学修してことを多方面で活かしてもらいたい。ただ最新の世界情勢も反映するように講義内容をを若干欲張ったため時間内に十分理解してもらえらる説明や解説ができなかつた面があつたことは反省材料である。ビデオは講義の理解に効果的であると思われらるが、短時間で要点を突いておりかつ公共素材のものが少ないので常に探索しておく必要があると考へてらる。レポート課題及び試験については、学事日程との兼ね合ひをみつつ時期と回数にさらには検討の必要がある。なお、レポートのonline提出は専用レポートBoxや提出チェックシステムなど大学のシステム改良が伴わな限り困難と考へらる。
基礎英語Ⅰ(M-1)	2 Q	信濃 吉彦	比較的に楽しく学んでらるようであつた。同時翻訳ツールが日進月歩する中、なるべく自力でコミュニケーションを取ってもらいたいものです。
基礎英語Ⅰ(M-2)	2 Q	岡島 徳昭	学生との直接対話を増やし、より丁寧な説明に努めたい。
基礎英語Ⅰ(M-3)	2 Q	石田 暁子	記述欄の意見や感想には励まされらるが、選択肢の回答には授業に満足してらる学生が少数でも存在するこが示されてらる、考へさせらる。後期の授業に向ける課題となつた。
基礎英語Ⅰ(M-4)	2 Q	井坂 肇	授業の理解度、満足度は概ね良好であつた。このクラスは特に英語が苦手な学生が多いのでアンケートの結果、授業が分かりやすくよかつた。声の大きさ、授業の進度に注意して授業を展開した成果が出てらる。今年度から教科書を変更し、書き込み式の授業を展開したため、学生は自分で理解度を確認しながら講義を受けらるこが出来た。
英語入門Ⅰ(M)	2 Q	石田 暁子	暑い教室で頑張らるね。授業中のスマホの使用に関しては、もっと厳しく対応しようと思へらる。
英語入門Ⅰ(S)	2 Q	横田 肇	学生の興味と理解度がある程度図らるたのは良かったと思へらるので、今後はさらに 授業の工夫に努めたい。ただ、いつものこであるが、高評価と低評価の差があり、少数派の低評価に引張らるる形で全体の評価が低くなる傾向がある。これはシステムの問題もあろうが、悩ましいこである。
英語入門Ⅰ(D)	2 Q	宮嶋 達也	英会話を中心に少人数での授業ということもあり、詳細な部分まで会話の内容をチェックできたので、ある程度満足いく授業だつた。
英語入門Ⅰ(A)	2 Q	宮嶋 達也	英会話を中心に少人数での授業ということもあり、詳細な部分まで会話の内容をチェックできたので、ある程度満足いく授業だつた。
中国語入門Ⅰ	2 Q	孫 暢	今年も板書の問題を指摘されらる。やはり内容が多く、じっくりした方が良く改めて認識しまつた。 来期の授業では、板書のとる時間を改善しまつた。
日本語Ⅲ	2 Q	佐藤 恵利	日本語能力試験N2同等レベルの日本語能力習得のための授業の為、文法中心の授業が多く「興味を持てなかつた」「満足できなかつた」という声も一部あつた。学生にとっては興味を持てない分野だつたのかもしれないが、今後は少しでも興味を持って授業に臨めるよう工夫してらる。
社会保障Ⅱ	2 Q	星野 秀治	年金制度についてゲストスピーカーも招き、かなり時間を割いたのですが、1年生ということもあり、なかなか理解が難しい部分があつたようです。来年度はもう少し工夫してみようと思へらる。前回に続き、音量についてのリクエストが多くあつた。マイクによって特性もあるようであつたので、声を拾ひやすいマイクをもう少し厳選して利用しようと思へらる。
心理学と心理的支援	2 Q	吉澤 英里	アンケートに回答してらるごき、ありがとごき。この科目では、毎回最後にコメントや要望を書いてもらひ、次の回にそれを反映・フィードバックするという形式をとつてらる。それでも、「満足できなかつた」という回答が2%あつたので、次年度はさらには満足度を上げるべく工夫しまつた。
高齢者福祉	2 Q	櫻井 美帆子	特に介護保険制度の部分はわかりにくいと思へらる、なるべくシンプルに伝えよると意識してらる。その旨を理解してくる方が多くてうれしです。7月末の教室の暑さ対策について、次年度の課題にしまつた。
就労支援サービス	2 Q	畠山 明子	コメントありがとごき。配布資料や教材内容の検討等、より理解が深まるようにならるよう工夫してらる。
更生保護制度	2 Q	西野 克俊	満足度として、とても満足できた59%、十分満足できた24%、満足できた18%となつてらる、一定程度満足してらる内容になつてらると実感しまつた。 次年度よりは科目名称も時間数も変更となつたが、今結果を踏まえさらなる向上を図りたいと思へらる。
色彩環境論(D)	2 Q	北嶋 洋一	教室の環境に合わせたスライドの作成が必要と感へらる。 話込み感が強いのではと感へらる。 100人近い人数がらると後ろの席の私語までは気付きにくいので、もっと注意が必要と感へらる。 他、アンケート内容を踏まえて改善を試みることしてらる。
色彩環境論(A)	2 Q	北嶋 洋一	教室の環境に合わせたスライドの作成が必要と感へらる。 話込み感が強いのではと感へらる。 100人近い人数がらると後ろの席の私語までは気付きにくいので、もっと注意が必要と感へらる。 他、アンケート内容を踏まえて改善を試みることしてらる。

西洋美術史Ⅰ	2 Q	竹内 美帆	後半エアコンのない教室だったためとても暑かったことで授業に集中しづらい環境であったと思います。申し訳ありません。定期テストの際はエアコンありの教室に変更できたので、来年度は教室が確定する前に暑さ対策のことも検討しておく必要があると感じました。レジュメとパワーポイントは見やすいというご意見と、見づらいというご意見が挙げられましたが、来年度は文字の大きさや教科書の記述は減らすなど、調整していこうと思います。また、小テストの難度についても、受講生の理解度を確認しながら変更していきたいと思ます。
建築材料	2 Q	小笠原 健	この講座は、建築学科の一年生の履修科目として、数少ない専門必修科目である。専門科目である以上は、教養科目とは異なり、ある程度の学習スキルの修得が求められる。また、これから建築学科に所属する学生として、各専門分野の基礎的な講座でもある。よって、ある程度の難易度と講義内容も幅広く専門的な内容となっている。以上から、この講座は、板書中心に実施しており、教科書の要約した内容とともに事例や教科書以外の情報も取り入れながら、板書を行っているため、情報量も多く、板書量も多めの内容となっている。そのため、板書については、携帯等による写真撮影を許可しており、講義外でのノート作り等に役立てるように配慮している。しかしながら、多くの学生は板書もせず、不真面目な学生も少なからず存在しているのも現実である。パワポなどでは習得できないノート作りをさせることが一つの目的でもあり、今後の専門科目に役立てるように専門用語を中心に板書にて説明している。結果的に一部の学生を除き、おおむね高評価のアンケート結果を得ており、一年生の専門科目の講座としては、所期の目的は達成しているものと思料する。
建築構造力学Ⅰ	2 Q	長森 正	授業評価アンケートのご協力ありがとうございました。授業内容の理解度、満足度ともに、90%以上の評価をうけていました。また模範解答を掲載した配布プリントはとても好評との評価でした。第3Qの建築構造力学Ⅱでも継続して、わかりやすい資料の配布を行います。基本に忠実に判りやすい授業をこころがけます。
建築設備Ⅰ	2 Q	君 興治	2級建築士試験などでは出題される範囲が少ない部分ではあるが、実際の業務にかかわると、設備がない建築物はほとんどなく、将来的に少しでも設備の知識にふれておくことができればいいと思ひ、座学の授業でありながら作図する部分を多く取り入れています。今後は、もっと画像を多く学生に見せるように教材を増やしていきたいと思ひます。
建築施工	2 Q	小笠原 健	この講座は、二級建築士試験の4科目うちの施工分野に対応した授業を実施している。なお、建築士試験の科目であるほか、建築の専門分野の主要分野にあたる。よって、この講座と建築生産の2つの講座で二級建築士試験レベルまでのスキルアップと一級建築士試験の基礎的な実力の修得を目指すものである。近年、在学中に二級建築士試験を受験する学生も増えてきており、また、卒業してすぐの建築士試験に対応すべく、過去問題を取り入れた実践的な授業を行っている。今回のアンケートでは、ある程度の高評価を得ているものの、建築士を目指さない学生にとっては、厳しい授業内容であるものと思われるが、あくまで建築学科に所属する学生として、最低限の実力を修得できるものとして、講義を行っている。また、四年生に実施される卒業試験では、この施工分野の平均点が最も高く、この講座の効果が表れているものと思料する。
スポーツマネジメント論	2 Q	信濃 吉彦	概ね楽しく学べていたようなので少し安心しましたが、今年の1年生は自宅学習の量と時間が足りません。テスト結果がそれを明らかにしています。この科目でSグレードの学生が出ないのは初めての経験です。
スポーツマネジメント論 (SP)	2 Q	信濃 吉彦	概ね楽しく学べていたようなので少し安心しましたが、今年の1年生は自宅学習の量と時間が足りません。テスト結果がそれを明らかにしています。この科目でSグレードの学生が出ないのは初めての経験です。
キャリアデザインⅠ (M)	2 Q	山本 一彦	ホワイトボードへの筆記は場合によっては受講者から見にくいことも考えられ、教室変更等を考えたい。大人数授業ではあるが、アンケート結果および試験結果から理解度の面で一定の水準に達していたと思われる。意欲の高い学生の受講環境維持に今後も努めたい。
キャリアデザインⅠ (S・D・A)	2 Q	山本 一彦	ホワイトボードへの筆記は、場合によっては学生から見にくくなることもあり、教室変更等を考えたい。大人数授業の難点もあったが、アンケート結果および試験結果からは理解度で一定の水準に達していると思われる。以後も意欲の高い学生の受講環境を良好に保つよう努めたい。
社会福祉の原理と政策Ⅱ	2 Q	小早川 俊哉	本授業はⅠ・Ⅱと続きの授業であり、福祉全体を網羅するものです。覚えなければならない専門用語も沢山あり、それら専門用語を使って考察することも多々あります。そのため、授業の進行スピードをある程度維持しなければならないことを理解してください。
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	2 Q	大島 康雄	知的探求心をもって授業が受けれるようにしていきたいと思ひます。授業環境や私語等の注意もしていきたいと思ひます。今後とも色々のご意見を頂けると幸いです。

現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2 Q	畠山 明子	コメントありがとうございました。実践経験がないことで授業内容に具体性が見えにくいという点は、ご迷惑をかけている部分かと思います。今後より理解が深まる教材研究を工夫し、取り組んでいきたいと思っています。
精神保健福祉の原理Ⅰ	2 Q	西野 克俊	満足度として、とても満足できた69%、十分満足できた15%、満足できた15%となっており、一定程度満足していただけた内容になっていると実感しました。今後も工夫をしながら、さらなる向上を図りたいと思います。
保育者論	2 Q	吉江 幸子	保育者論の履修、有り難うございました。留学生も履修してくれたことで、自国と他国の保育の現状を調べて比較する等例年とは違った取り組みも織り交ぜることができ感謝しています。講義だけでなくグループワークを通して横のつながりを意識するよう展開しました。学生のアンケート回答にその意図が汲み取られていることを知り大変うれしく感じています。
肢体不自由者の心理・生理・病理	2 Q	坂上 俊樹	設問6を除くと、約9割の学生がよい評価をしてきている。しかし、「学生の理解度の確認」にかかわっては、工夫が求められているように思う。授業内容の精選を行い、質問や議論をする時間の捻出に努めたい。
聴覚障害教育総論	2 Q	室岡 弘明	多くの受講生の皆さんに授業内容を理解してもらえたようで安心しました。今後は一方的に話すのではなく、もう少し受講生との対話を多くして理解度を確認しながら進めていきたいと思っています。また、聴覚障害教育の経験談や視覚的教材を多くしてわかりやすい講義をしていきたいと思っています。
精神保健福祉援助演習Ⅱ（3年）	2 Q	畠山・西野	コメントありがとうございます。事例に基づき自分で考え、グループで話し合い、まとめ、報告する、そして、実践してみる（ロールプレイ）ことを繰り返していくことで、精神障害のある方に対する精神保健福祉士としての関わりを学ぶことができるよう、今後も工夫していきたいと思っています。
子どもの食と栄養	2 Q	湯浅 頼佳	概ね良い評価を頂きましたが、時間配分については当日どうしても保育実習の訪問指導に行かなければならずやむを得ず早く切り上げたりする日もあった為このような評価になったと推察します。次年度からはそのようなことが無いよう配慮する必要があると反省しております。
病弱教育	2 Q	千葉 聡美	すべての設問で8割以上が十分適切だったという評価を得られた。病弱の場合は参考になる指導場面の映像が少なく、知識として説明した後に、より身近に感じてもらうための映像を流したかったが適切なものがない場合、座学になってしまった。グループワークは二人～三人という人数で進めやすかったようだ。3年生対象なので、もっとグループワークのバリエーションを増やしたり、学生の調査研究も取り入れていきたい。
発達障害等教育総論	2 Q	堀川 厚志	全ての項目において、良好な結果であったことから、引き続きこれまでの教授方法を継続する。また、ペアワークや少人数の協議時間、発表し共有する機会をつくるなど、より一層内容の理解が深まるようにしたい。
社会思想史（M）	2 Q	後藤 啓倫	受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。アンケートの回答にご協力いただきありがとうございました。毎回の授業では難解なテーマに関わらず感想や質問を投げてくださいありがとうございました。今回皆さんからいただいた貴重なご意見を、今後の授業に生かしてまいりたいと思います。
社会思想史（S）	2 Q	後藤 啓倫	受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。アンケートの回答にご協力いただきありがとうございました。毎回の授業では難解なテーマに関わらず感想や質問を投げてくださいありがとうございました。今回皆さんからいただいた貴重なご意見を、今後の授業に生かしてまいりたいと思います。
日本文化史（M）	2 Q	及川 琢英	授業内容を見直し、より良いものに改善していきたい。
日本文化史（S）	2 Q	及川 琢英	授業内容を見直し、より良いものに改善していきたい。
身体表現	2 Q	尾西 則昭	貴重なご意見ありがとうございました。学生からの改善意見、要望等の回答がありませんでした。設問での項目で話し方、時間配分、理解度など自分から見ると全体的に満足していない学生がおりましてので今後は満足のいくような授業展開を心がけて行きます。ありがとうございました。
乳児保育Ⅰ	2 Q	吉江 幸子	乳児保育Ⅰの履修、有り難うございました。教育専攻の学生や留学生も履修してくれたことで、視点や文化の違いも体験することができ例年とは違った雰囲気になりました。特に育児休業に関するグループワークでは自国と他国の違いを調べて発表するなど、皆さんが楽しみながら取り組んでいることが伝わりました。講義科目ではありますが、履修者一人一人が発言の機会をもてるよう今後も工夫して参ります。
子育て支援	2 Q	杉本 大輔	猛省です！
基礎デザインⅠ	2 Q	林 春生	デザインの基礎となる技術を身につける為の授業を計画したが、多少レベルが難しかった点が見受けられたので、次回は全員が身につけられるように改善する。
デザイン概論Ⅱ	2 Q	赤木 良子	試験が少し難しいというコメントがありましたが、割とみなさんよくできていました。また、楽しめた方もいたようだったので、私も嬉しいです。デザインの理論はとても面白いので、その面白さを少しでもわかった方がいたら、本当に良かったです。難しい内容だったとは思いますが、皆さん頑張ってください！ありがとうございました。

キャラクターデザインI	2Q	三上 いずみ	今回も課題提出までの時間が短いという意見があった。対して、短いスパンで仕上げる勉強になるという学生もいて、ほどよい課題量であると考えている。今回課題の内容に関しても意見が出たので今後は幅広い内容で取り上げていきたい。受講者が多く1コマの時間内で発表してもらうのは厳しかったが、学生にとってはよいフィードバックになっており、励みにもつながるようである。
インテリアデザインII	2Q	安藤 淳一	当該授業の場合、ショールームの見学会の日程が直前に変更することもあるため、できるだけ早く日程調整をおこない、授業スケジュールを早く伝えられるよう改善していきたいと思います。
造形論I	2Q	松岡 龍介	この科目は、将来、美術やデザインの専門家として社会で活躍しようとする学生が、在学中に最低限身につけてほしい、知識や、見方、感じ方について、毎回、テーマに沿ったレポートを制作することによって、書き言葉を含めた言葉として各自が“まとめ”る力を養うことを目的としています。したがって、内容は、広汎なテーマを設定します。また、本科目を受講するにあたり最低限の美術に関する用語の知識も必要になると思います。
保育内容演習I(健康)	2Q	宮崎 剛司	学生の個別のニーズに応え、実践的な学習体験を提供し、全体的な健康意識を育むことをより目指すべきでした。また、定期的な評価とフィードバック、学生間の協力を促進する方法も重要な側面でした。今後は、これらの要素を組み合わせ、健康演習の授業はより効果的で充実したものになるように取り組んでまいります。
保育内容演習III(環境)	2Q	佐藤 慶知	いただいた意見を参考にさせていただき、今後の講義の内容にいかしていきたいと思います。
保育内容演習IV(言葉)	2Q	吉江 幸子	「言葉」の履修、有り難うございました。乳幼児期の言葉の発達特性と言葉の獲得を意識し、「かるた制作」に取り組みました。短期留学生にプレゼントする、という目標が目前にあったことから皆さんのモチベーションも上がったようですね、アンケート項目7、「授業への興味関心」が100%だったことで理解できます。絵と言葉をリンクさせる遊びは、楽しみながら覚える環境作りが有効です。各自の発想力は素晴らしいものがありますので今後の活動でも発揮できると良いと思います。
保育内容演習V(表現)	2Q	吉江 幸子	「表現」の履修、有り難うございました。留学生も一緒になって模擬保育のためのグループ活動を進めました。途中、保育実習で不在となる学生もいて心配しましたが最後の発表ではまともにも良く、子ども役の学生たちが楽しむ様子が見られました。この事は「授業に対する満足度100%」回答だったことで明らかです。発表のグループは事前準備不足を感じた学生もいたでしょうが、それらを今後の学修に活かしていくことで良いと思っています。
建築士のための基礎数学	2Q	横山 哲也	学生の理解度をもっと確認するように心がける。
鉄筋コンクリート構造	2Q	長森 正	授業評価アンケートのご協力ありがとうございました。昨年度の意見のなかで、授業進行が早く理解不足の反省を生かし、今年度は演習説明の丁寧な解説をこころがけました。その結果、授業理解度は85%、満足度は98%の評価をえました。また基礎的は解説を増やした結果と資格試験に関連付けた演習の実施も評価されていました。力学的な授業でしたが、今後も実務との関連付けを丁寧に説明していきます。
建築法規III	2Q	佐藤 善太郎	建築法規もIIIになると授業の進め方もみんな慣れたもので、阿吽の呼吸で進行できました。授業満足度も不評の意見が3%ほどで、あとは好意的な評価でした。どうも。今回のクォーターでは問題の解説ばかりやっていた感じですが、あれができれば条文も理解できているということですから、力が入りすぎて時間を余計に消費してしまいました。その分、法規IVにシワ寄せです。単位認定については試験の点数をもとに、全員調整をはかりました。(甘めに)
建築の職能と倫理(3年)	2Q	安藤 淳一	アクティブラーニングをより効果的に取り入れられるような授業内容、資料を改善していきたいと思います。特に3年生の場合は専門知識の習得に重点を置きたいと思います。
建築の職能と倫理(4年)	2Q	安藤 淳一	アクティブラーニングをより効果的に取り入れられるような授業内容、資料を改善していきたいと思います。
職業指導(M)	2Q	川津 大樹	他の授業と財務分析の内容が重複していた点については、企業・職業の理解と分析という本授業のために欠かせないものと考えておりましたが、次年度はウエイトを見直し、就職関連の要素をさらに取り入れるようにします。なお、夏季に教室変更がなかったことに対する意見は、同時間帯に実施している授業・教室との兼ね合いがある点、ご了承いただきたいです。
建築設備II	2Q	君 興治	設備Iよりももっと実務に入り込んだ授業としています。将来的に少しでも設備の知識や建物図面と設備の関連にふれておくことができれば良いと思い、座学の授業でありながら作図する部分を多く取り入れています。今後は、もっと画像を多く学生に見せるように教材を増やしていきたいと思います。

建築積算	2 Q	佐々木 哲之	建築工事種別ごとに説明し、問題を解き解説する方法を取っている。そのため、学生の理解度を確認しながら授業展開をしていくので年度により単元の進度が変わることがある。アンケート結果は概ね満足できる結果であった。今年度は受講生が少なかったため学生の授業参加を意識して授業展開をした。
中小企業論	2 Q	石山 玄幸	アンケートの回答ありがとうございます。当該講義は1年生の第2Qに実施ということで、本来の中小企業論の内容より、かなり易しく経営学全般を幅広くお知らせしています。自由回答にも様々な話が聞けて良かったという意見もあり、計画通りの講義が進められたと実感しています。
スポーツ心理学	2 Q	佐藤 和裕	スポーツ心理学に興味を持ってもらい、授業に関しては理解してもらうことを意識し、毎回プリントを配布しプロジェクターを使用しながら授業を進め、授業の最後に必ずフレクシオンをおこない、授業の理解度を確認した。今後は視聴覚教材を利用しながら、より理解しやすい授業を心掛けたい。
経営情報論	2 Q	薦田 勇智	【同一科目は同じコメントを記載しております】アンケートへの回答、ありがとうございます。必修科目であることから、分かりやすいレジュメの作成に最善を尽くし、全ての学生が内容を理解できるような授業を提供することに専念しました。現代社会において、情報の適切な取り扱いがますます重要とされています。ですので、ぜひ情報の専門家を目指す一歩として、この授業をご活用ください。
経営情報論 (SP)	2 Q	薦田 勇智	【同一科目は同じコメントを記載しております】アンケートへの回答、ありがとうございます。必修科目であることから、分かりやすいレジュメの作成に最善を尽くし、全ての学生が内容を理解できるような授業を提供することに専念しました。現代社会において、情報の適切な取り扱いがますます重要とされています。ですので、ぜひ情報の専門家を目指す一歩として、この授業をご活用ください。
ミカ経済学	2 Q	河野 善文	回答のなかに、日常の何気ない意思決定に関する考察への関心がありました。今後も授業のなかで日常の事例を取り上げて分析していきたいと思います。また、後ろに着席している一部学生の話し声に関する指摘がありましたので、注意をはらっていききたいと思います。
ビジネスプランニング論	2 Q	猪尾 紀幸	本講義では、事業計画書を作成する上での基本知識を実際に事業計画書を作成しながら習得することを目的としております。形式としては、講義・演習・質疑応答を基本として講義を進めました。学生の理解度の確認、質疑への応答が重要だと考え講義を進めていきました。次年度以降も理解度の確認と特に演習、課題制作時の質疑に対し丁寧に応えていきたいと思っています。
まちづくり論	2 Q	松本 懿	回答22名中、「あまり満足できなかった」「満足できなかった」が3名。途中で意見・要望を聞くなどして、これを減らすよう心がけたいと思います。自由意見欄に「課題が多すぎる」、12:10前には必ず終わっていたはずですが「授業終了が遅すぎて昼食をとる時間がなくなる」といった意見が。状況を確認し、必要に応じて改善を行って参ります。
観光マネジメント論	2 Q	五ノ井 壽一	より授業に興味を持ち更に理解を高めるように創意・工夫努力いたします。今年度は特に暑く、冷房施設がほしかったです。
情報システム論	2 Q	由水 伸	講義はコンピュータとソフトウェア、ネットワーク、セキュリティ、システムの保守に関する基礎知識に関するもので、範囲が広く、項目も多いため、この授業時間で全てを完璧に理解するのは難しいでしょう。今後、必要に応じて「確かこれはこうだった」と自分で調べるために、一度、全体を俯瞰して見ておく必要があると考えますので、その一助となれば幸いです。今後は、より理解を深めるために、一方通行の授業を減らし、自ら学修するスタイルを取り入れていこうと考えています。
コーポレートファイナンス論	2 Q	川津 大樹	「授業の内容は多すぎ」であり、「ちょっとぎりぎりの感じ」があるというご意見に対しては、コーポレートファイナンスの論点を満遍なく取り上げた結果ですが、次年度以降は講義の進め方と取り上げる論点を見直し、少し余裕を持たせられるようにします。
データベース論	2 Q	由水 伸	講義の前半で情報とデータの基礎知識の復習に時間をとったため。本来のデータベースの講義・演習時間が不足気味となりました。全体として情報量が多く難しく感じたのではと思います。ただ、一方で「優しかった」と評する学生もいて、実際、課題・テストともに満点を取っていました。データベースを理解するには情報の基礎知識の修得が不可欠で、前段で情報システム論とプログラミング論を受講しておく必要があるでしょう。
北海道産業史 (M)	2 Q	石山 玄幸	アンケートの回答ありがとうございます。当該講義は北海道の産業史を実質15回の講義で進めて行くという非常にタイトでしたが、受講態度等、含めて学生の協力で感謝します。
北海道産業史 (S)	2 Q	石山 玄幸	アンケートの回答ありがとうございます。当該講義は北海道の産業史を実質15回の講義で進めて行くという非常にタイトでしたが、受講態度等、含めて学生の協力で感謝します。
外国書講読	2 Q	岡島 徳昭	学生との直接対話を増やし、より丁寧な説明に努めたい。

人的資源管理論	2 Q	信濃 吉彦	経営学の科目の中でも難しい科目です。教科書を中心に理解してもらえると幸いです。しかしながら、現実とのギャップも無視できないところもあり分かりづらかったと思います。信濃ももっと勉強させていただきます。
人的資源管理論 (SP)	2 Q	信濃 吉彦	経営学の科目の中でも難しい科目です。教科書を中心に理解してもらえると幸いです。しかしながら、現実とのギャップに関して無視できないところもあり分かりづらかったと思います。信濃ももっと勉強させていただきます。
ポータル文化論	2 Q	細川 光法	パワーポイントの使い方等を改善して、今後も学生の皆さんに分かりやすい授業ができるよう鋭意努力いたします。
ポータル文化論 (SP)	2 Q	細川 光法	今後も分かりやすい授業して、学生の皆さんが理解できるよう鋭意努力いたします。
体づくり運動	2 Q	廣田 修平	1年次第2Qの授業のため、授業開始時は受講生同士お互いのことをよく知らない人も多かったと思いますが、体作り運動における「体ほぐしの運動」により、体だけではなく心もほぐれて徐々に友人以外の人との関わりも増えていったことと思います。また「体力向上のための運動」では得意な分野の運動だけではなく様々なバリエーションの運動を通して、苦手な分野の体力向上の基盤も学んでもらいました。この授業の醍醐味は「運動を楽しみながら健やかな身体を作る」ことを体験しつつ、それを実践指導できる教員になるための知識や技術を得ることでした。グループワークでの模擬授業を通して上記のことをしっかり学んでもらえたと考えています。
学校保健	2 Q	天野 雅斗	教職課程の学生がより学校保健領域において興味関心をもつような話題を提供するとともに、グループワークなどのアクティブラーニングを取り入れ学びがより深くなるような授業内容に改善していきます。
生理学	2 Q	黒川 泰任	生理学は「ヒトの正常機能」を調べる学問です。医学の1分野ですが、われわれの基本的な機能を追求しているため、ヒトに関する種々の物事に関与しています。すなわち生理学の中身のいずれも、私たちとは切っても切られない縁があるのです。皆さんが、運動家になろうと、事務職に就こうと、この大学で学んだ「生理学」は必ずどこかで関係してくるでしょう。その一つでも、1回でも、気づき、思い起こす機会が必ずくることを確信しています。学んだことを自信を持って思い出し、復習、再勉強下さい。自己の脳に得た知識は、まさしく自分の大いなる財産です。
衛生学及び公衆衛生学	2 Q	宮崎 剛司	科目上、広義で多岐にわたる知識が求められるなかにおいて、学生に実体験に近い事例を用いて授業展開を図ることは重要であり、このアプローチにより学生の興味を引きつけることができるべきでした。事例の選定と授業展開の工夫、学生の興味と関連性、理解度の確認などの側面を検討する必要がありました。このような視点から、授業の質を更に向上させるため努力してまいります。
精神保健II	2 Q	畠山 明子	コメントありがとうございます。実践経験がないことで授業内容に具体性が見えにくいという点は、ご迷惑をかけている部分かと思います。今後より理解が深まる教材研究を工夫し、取り組んでいきたいと思っております。
ビジネス倫理	2 Q	遠藤 均	講義内容は、かなり辛口なものが多かったのではないのでしょうか。しかし、冷厳な現実をしっかりと受け止め、よりよい未来を築くために尽力してほしいと願っています。
教育課程論	2 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が100%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。「楽しかったです。ありがとうございます!」「グループワークや発表を取り入れているのがとてもいいと思いました。」「課題が多すぎるので1週間に1枚など減らして欲しいです。」「教育について熱心に教えてくださり、とても勉強になりました。」「休んだ分の補講も授業と同じように教えていただけ、とても満足しています。」「グループワークにより、協働性が養われた。教育について深く思考し、意見を共有することができた。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
教育方法論 (M)	2 Q	藤根 収	アンケート回答ありがとうございます。比較的高い評価をいただきました。ただ、授業の理解や満足度で若干名ではありますが、要望に応えられなかった学生もおられるようですので、今後も学生の理解の状況等に留意しつつ、分かりやすい授業づくりに努めてまいりたいと考えております。
教育方法論 (S)	2 Q	藤根 収	アンケート回答ありがとうございます。高い評価をいただきました。今後も学生の主体的な授業参加に留意しつつ、分かりやすい授業づくりに努めてまいりたいと考えております。
教育方法論 (D・A)	2 Q	藤根 収	アンケート回答ありがとうございます。比較的高い評価をいただきました。今後も学生の理解の状況等に留意しつつ、分かりやすい授業づくりに努めてまいりたいと考えております。
教育相談 (カンゼツ)を含む。(M・D・A)	2 Q	蝦名 美穂	基本的な知識の習得度の違いにより、本講義の理解度に差ができたアンケートのコメントより推測しました。毎回のリアクションシートのやり取りから、コメントを返すことによって理解を促すことをしてはりましたが、次年度以降はご指摘の点をさらに改善できるように努めたいと思っております。

教育相談（カウンセリングを含む）（S）	2 Q	蝦名 美穂	実習中という学生さんも多く、講義を録画して、後から見ていただく形でも対応させてもらいました。対面ではないので制約もありましたが次年度以降もこのスタイルで講義を行いたいと考えております。講義のスライドのアップロードは失念しておりました。チームスに挙げましたので、しばらく閲覧できますので、復習に活用していただけたらと思います。
特別な教育的ニーズの理解とその支援	2 Q	藤根・木村	アンケート回答ありがとうございます。高い評価をいただきました。今後とも教員間で連携を図りつつ、より良い授業づくりに努めてまいりたいと思います。
情報基礎演習Ⅰ（M-1）	前期	由水・薦田	個人の生活ではスマホやタブレットの時代になっていますが、大学での学修や創作的な活動、企業の現場ではパソコンを使った作業は必須です。機会を見てスキルアップを目指して下さい。なお、スクリーン等の配置や設置機材の使い勝手については検討をします。
情報基礎演習Ⅰ（M-2）	前期	由水・薦田	個人の生活ではスマホやタブレットの時代になっていますが、大学での学修や創作的な活動、企業の現場ではパソコンを使った作業は必須です。機会を見てスキルアップを目指して下さい。なお、スクリーン等の配置や設置機材の使い勝手については検討をします。
情報基礎演習Ⅰ（M-3）	前期	由水・薦田	個人の生活ではスマホやタブレットの時代になっていますが、大学での学修や創作的な活動、企業の現場ではパソコンを使った作業は必須です。機会を見てスキルアップを目指して下さい。なお、スクリーン等の配置や設置機材の使い勝手については検討をします。
情報基礎演習Ⅰ（S-1）	前期	宮崎・薦田	アンケートの回答ありがとうございます。授業内ではofficeばかり扱いましたが、現代社会を生きていく上でパソコン自体使えるようになっておいて損はないと考えています。この授業をきっかけに少しでもパソコンに興味を持ってもらえると嬉しいです。
情報基礎演習Ⅰ（D-1）	前期	北嶋・薦田	その日の内容にもよりますが、質問に適切に対応できなかったことが度々ある。特にアプリケーションの操作よりも、簿記や会計的な知識が無いため計算式を質問されるとお手上げの現状は如何ともし難かった。
情報基礎演習Ⅰ（A）	前期	伊藤裕・薦田	授業スピードが速いとの意見があり、もう少し机回巡視をして学生の進み具合を確認しながら授業スピードを調整するようにしたいと思います。
情報基礎演習Ⅱ（S）	前期	宮崎・薦田	アンケートの回答ありがとうございます。楽しく授業を受けたというコメントがある反面、厳しいコメントもいただいたので真摯に受け止め、次回から改善をしていきたいと考えています。
スポーツ総合(M-A)	前期	佐藤和・米野・中川	満足してた学生がほとんどでしたが、今後楽しく授業に参加してもらえるよう工夫しながら進めて行きたい。設問5に適切でない回答がありましたが、実技なので配布プリント等は配布していません。
スポーツ総合(M-B)	前期	佐藤和・米野・中川	スポーツ総合の実技科目は、新型コロナウイルスの感染状況をみながら、前半は個人種目のネット型を中心におこない、後半は団体種目のネット型からゴール型の種目を取り入れ工夫をした。今後はスポーツが不得手な学生に対して興味を持たせるためにも、ニュースポーツを導入しながら改善していこうと思う。
スポーツ総合(D-A)	前期	石井 祐治	普段あまり運動をしていない学生が多いため運動量に考慮して楽しく授業を受けられる内容にしたつもりです。目標である実技を実践して体を動かしてやる目標は達成できたかと思えます。もっと実技テストをやってもよいのではないかという意見もありましたので次回からは、数種類の実技試験を実施して細かく評価をしていきたいと思えます。
スポーツ総合(D-B)	前期	石井 祐治	事前アンケートで普段運動をしていないという学生が多く運動量を考慮した授業を心がけて運動に興味をもってもらえる内容にして、多くの学生から評価を受けたことに満足していますが、今回は、実技試験を数種目入れてその中で評価していきたいと思えます。
平面構成Ⅰ	前期	赤木 良子	まず、道具の準備についての連絡が遅くなっていたことについての指摘がありました。申し訳ありませんでした。また、期限など相対的表現ではなく、絶対的表現にしていきます。準備品も今後なるべく早めにお伝えするように努めます！それから、抽象的な課題について、難しいという声を何度か耳にしました。具体的な課題については皆さんよくできていたので、日頃から目しているか、耳にしているかの慣れの問題もあるのかなと思えました。今後はなるべく質問などもしやすいような取り組みにしていきたいです。
デザインⅠ（A）	前期	西田 陽二	熱心に学習し、結果が出てきた学生も多くいる。お互いに良い影響を期待している。
デザインⅠ（B）	前期	西田 陽二	熱心に対応している学生もいるが、授業内容を実感できていない学生もいる。後期に期待する。
デザインⅢ	前期	西田 陽二	熱心に対応している学生が多く、後期の結果に期待できる。

基本製図	前期	安藤・向井	当該科目は建築図面の理解と基本的作図能力を身につけるための重要科目であるため、正確に説明をした上で作図に取り掛かるという手順を踏んでいます。そのためどうしても説明に時間がかかります。その時間を節約するために事前に板書し、画像をTEAMSに貼り付けています。さらに理解してもらうための改善をおこないますが、その点をご理解ください。
キャリア支援演習Ⅰ(M)	前期	遠藤 均	この授業内容は、インターンシップや就活、就職後はもとより、あらゆるシーンで活用でき、生活の質を高めてくれるものです。講義終了後も、時々読み返し、会得してほしいと願っています。
キャリア支援演習Ⅰ(S)	前期	横田 肇	学生の興味、理解は概ね高評価で、良かったと思う。ただ、毎回そうであるが、教員からの一方的な話が多い、話が退屈といったコメントが若干ある。テキストだけの講義だけだと内容が乏しく、当方も退屈なので、「自分語り」の形でテキスト以外の話もするが、有用と思うか無駄話と思うかで別れるようだ。今後に向け、一考したい。
キャリア支援演習Ⅰ(D)	前期	北嶋 洋一	教室の環境に合わせたスライドの作成が必要と感じた。学生の進路に対する興味を引くためには、教材に工夫が必要と感じた。他、アンケート内容を踏まえて改善を試みることにしたい。
キャリア支援演習Ⅰ(A)	前期	横山 哲也	テキストとのリンクを丁寧に説明するようにする。
特別支援教育実習(事前指導)(4年)	前期	木村・千葉	特別支援学校の教育実習に備え、実習期間中の礼儀や日誌の書き方、あいさつなどを実践で行ったが、中学校、高校の実習の準備にもなったようだ。特別支援学校の見学が少なく、学校や児童生徒のイメージがつかない。実習に先立ち、研究授業を想定して、完全な授業細案の作成と模擬授業に取り組んだが、生徒の実態作成、授業内容のレベルの設定に苦慮していた。機会があればもっと見学先を増やしたり、ある程度生徒の実態はこちらで設定するなど、学生に中心的に取り組ませる部分を焦点化していきたい。
精神疾患とその治療Ⅰ	前期	伊東 隆雄	この授業では精神医学総論を講義しました。試験の結果を見ると概ねよく理解されていたと思います。精神医学の歴史を通して、精神障害者が時代や文化によってさまざまな不当な差別や偏見のなかで生きてきたことが理解できたと思います。それらの知識を基にして、より良い障害者福祉のあり方を学んでください。
立体構成Ⅰ	前期	梅田 力	授業の評価として、選択者の78%がとても満足できた。22%が十分満足出来たと回答いただいた。制作の方法をもう少しレクチャーして欲しいとの声があったので、次年度は教えすぎて画一的な作品にならないよう配慮しつつも、もう少し具体的な技術的指導も行いたい。
デジタルデザインⅠ	前期	上坂 恒章	全体の満足度は、「満足できた」以上で90%、理解度で「理解できた」以上で97%、興味、関心で「そう思う」以上で100%、一方、窓を開け、マスクを装着して授業であった為か、伝わり方が「そう思う」以上で84%であった。配布資料に関しては、「完成度が高く、みやすく、伝わるデザイン」とのコメントがあった。これらのアンケートを踏まえ、改善していきたいと思う。
イラストレーション基礎Ⅰ	前期	佐藤 正人	授業の全体の評価としては満足してもらえたものになっていたと思います。ただ中には初めてイラストに触れる生徒がいたり、またある程度イラストを描いて来た生徒もおり全体の課題内容としてどのレベルに合わせて設定してそれぞれのスキルアップを図るか、これからの課題内容についても一考して行きたいと思います。また全体での作品講評の時間もより取って行ければと思います。
グラフィックデザインⅠ	前期	北嶋 洋一	内容が堅苦しくなってしまう科目なので、もう少し余裕を持った授業にしなければならないと感じた。他、アンケート内容を踏まえて、今後の授業の改善を試みることにしたい。
プロダクトデザインⅠ	前期	林 春生	ほぼ、計画通りに技術の体得は出来たと考えていますが、理解が難しかった学生が多少見受けられましたので、次回はお手本や参考となるものを用意して臨みたい。
図学Ⅰ	前期	赤木 良子	皆さんが楽しめるような課題を出すよう努め、みなさん楽しんでもらった人もいたようだったので、良かったです。暑かったのは、申し訳ないのですが、みなさんそれでもとても頑張っていました。コンパスや定規など、これからも何かと活用してもらえればと思います。ありがとうございました。
プロダクトデザインⅢ	前期	林 春生	ほぼ計画通り授業は進めた。学生も体得出来たようです。次回は更に改良をして、ドローイング、レンダリングなど表現力を身につけられるようにする。
インテリアデザインⅡ	前期	梅田 真紀	概ね満足度の高い結果でした。基本的な授業内容は継続し、より丁寧に個別対応をしていきたいと思っています。
洋画Ⅰ	前期	安田 祐造	出席状況の把握のタイミングについてご指摘がありましたので改善したいと思います。一部で満足してもらえなかった点があるので対処したいと思います。

漫画Ⅰ	前期	三上 いずみ	アンケート結果を見ると授業内容は段々と改善できてきたようである。課題量に苦勞する学生もいるようであるが、やりがいを感じている学生もあり、丁度良いのではないかと感じる。課題提示するときは明確に発信することを心掛けているが、まだ不明瞭に感じる学生がいるようなのでさらにわかりやすく改善していく。
ビジュアルデザインⅠ	前期	田中 靖之	講義の組み立てとして、前半はレクチャー主体・後半は演習主体が従来30人以下の進め方でした。今期は50人オーバーの履修のため、個々へのアドバイス時間が極端に限られ、学生諸君に不満を感じさせたとと思います。演習問題は従来通り、多めに用意していますが、多人数の場合には選択範囲を絞れるような善処した対応が必要と考えます。
イラストレーションⅠ	前期	浩而 魅諭	受講生は皆が大変優秀で誠実で熱心でした。そのお陰で集団が集団を高め合うことができたと思います。私の力ではなく学生たちの力です。イラストレーションの基礎の基礎となるデッサンとものを見る力を重視する地味な授業です。基礎というものはどの分野においても多少の苦しさを伴ったりつまらなく捉えられることがあります。学生たちは私を信じてよくついて来てくれました。感謝の気持ちでいっぱいです。今後も、力がついて一人一人に寄り添った学ぶ喜びに溢れる授業の研究に進進する所存です。
イラストレーションⅢ	前期	佐藤 正人	多くの学生が満足した授業となり結果としては嬉しく思います。次回以降にも実践に即した内容を踏まえながらも、生徒達の興味あるものや現在求められている内容など研究して課題に取り入れるよう検討して行きたいと思います。
日本画Ⅰ	前期	岡 恵子	日本画Ⅰは実技教科ではあるが、どの学生にとってもほぼ初めて体験する分野であること、これが日本の伝統文化のひとつであることに鑑み、知識の習得と技法の習熟も重視しているため、短い時間内での作品制作と並行して習得することは困難な部分も多いと思われる。しかし、どの学生も積極的に授業に臨んでくれていると思う。今後はTEAMSの資料などもより精選して行き、変わらず熱意を持って進めて行きたい。
映像表現Ⅰ	前期	北嶋 洋一	映像の概論を行う上では教室環境が適しておらず、学生に多少の不自由を与えたと思われる。他、アンケート内容を踏まえて、今後の授業の改善を試みることにしたい。
コンテンツデザインⅠ	前期	上坂 恒章	授業全体の満足度は、「満足できた」以上で100%であった。また、理解度で「理解できた」以上で100%、興味、関心で「そう思う」以上で100%との結果であった。一方、話し方、時間配分については、「適切だった」以上で95%であった。自由記述で「とてもためになる勉強でした」「ありがとうございました」の学生のコメントを頂いた。今後も更に改善をして授業を構築したい。
技法・材料研究Ⅰ	前期	安田 祐造	皆さんと一緒に制作に取り組む時間を共有できて楽しかったです。よく頑張ってくれて嬉しいです。
彫刻Ⅰ	前期	梅田 力	昨年度の反省を踏まえ、今年度は作品のサイズを大きくして制作をしてもらったが、設定したサイズが若干大きすぎたようで、なんとか皆完成はしたが、最終的な完成度が全体的に昨年より低く感じた。課題のサイズを再調整し、造形力が高められるような課題を設定したい。楽しく授業が出来たという声がある一方、私語が気になったとの回答もあったので、バランスを見ながら、楽しく充実した時間になるよう、授業運営をしていきたい。
工芸実習Ⅲ(ガラス工芸)	前期	楠本 祐弘	学生の皆さんには、少し難しい課題もあったかもしれませんが、でも皆さん素晴らしい作品を製作して頂いたと思います。
工芸実習Ⅲ(陶芸)	前期	中島 知之	今回の工芸実習に関しては、留学生が多かった事も踏まえて、学生達の制作ペースを考慮し講義内容を多少調整した結果、余裕を持った講義の進行ができたように思う。さらに、アンケートの結果を踏まえて、今後より学生達とのコミュニケーションを深め、各学生の個性に合わせたより丁寧な指導方法を考えたい。

工芸実習Ⅲ(版表現)	前期	森迫 暁夫	毎年反省をしつつ、学生さんには全員「満足した」を目指していますが、なかなか難しいです。ただ、全員満足していないことに少し安心もしたりしています。 コロナ禍を経て、学生が学生らしくのんびり、のびのび、意欲的に、自発的に、楽しんで、熱意を持って、学校を楽しんで・・・などが著しく低下してしまっているのではないかと、他校の非常勤の仕事をしていても感じて、心配しています。 世の中では、コロナに加え、多様化、や、LGBTQ、SDGs、などなど、きっちりと、しっかりと、それぞれに名前をつけて区別して。という傾向がどんどん強くなっているなあと感じています。 今年は版画の授業形態も変わり、少人数になったことと、昨年のイラストの授業から引き続き顔をあわせる学生さんも多く、とてもやりがいがありました。 結果的には、仲良くなれて良かったところと、反省しなくてはいけないな、と思ったところはありませんでしたが、時間をかけたことにより、たくさんお話をし、コミュニケーションはとれて良かったんじゃないかと思うことが多かったです。 ただ、「満足」できなかった学生さんもいたようだったので、また考えないとな。と、思っています。 一人一人意識を持って接しているつもりですが、留学生に対しては言葉の壁もあり、不十分になりがちなのは毎年の反省点です。 改善に努めたいと思います。
漫画Ⅲ	前期	五十嵐・鴨	概ね良好なアンケート結果のほか、授業に満足した旨のコメントもいくつか届いており、ある程度問題なく授業の進行や指導ができたかと判断しました。今回の内容を踏まえつつ学生の個々の能力に合わせた課題の提示と指導を考え、学生が楽しんで技術を学べる授業を目指します。
彫刻Ⅲ(3年)	前期	国松 明日香	「私の肖像」という課題についての出題意図を授業の冒頭に十分に理解を得られるよう説明をした。受講生もそれを理解した上で課題の制作に臨んでいた。パワーポイントを使い素材として使う段ボールの特性を理解してもらうため様々な事例(過去の作品)を鑑賞し、制作の参考としてもらった。「JR札幌駅東コンコースにあるアートボックス内に設置する彫刻」ではパブリックアートの役割などを説明し、プランニングに反映させることを求めた。過去の事例をパワーポイントで見せて課題の意味の理解に努めた。観る人の動線などを考慮した作品などがあり、課題に対する理解度が高いと感じる作品もあった。
彫刻Ⅲ(4年)	前期	国松 明日香	「私の肖像」という課題についての出題意図を授業の冒頭に十分に理解を得られるよう説明をした。受講生もそれを理解した上で課題の制作に臨んでいた。パワーポイントを使い素材として使う段ボールの特性を理解してもらうため様々な事例(過去の作品)を鑑賞し、制作の参考としてもらった。「JR札幌駅東コンコースにあるアートボックス内に設置する彫刻」ではパブリックアートの役割などを説明し、プランニングに反映させることを求めた。過去の事例をパワーポイントで見せて課題の意味の理解に努めた。観る人の動線などを考慮した作品などがあり、課題に対する理解度が高いと感じる作品もあった。
建築表現Ⅰ	前期	安藤・君	建築図面をより効果的に表現するため、最初に身につけてもらいたいスキルのための授業ですが、その目的に沿うよう課題とその進め方について検討を続け、さらなる改善を加えていきたいと思っています。講評会は今後とも継続していきます。
アクションプログラムⅠ	前期	伊藤裕・向井	1年生にとっては初めての設計コンペであり、アイデアをどのように図面化するかに悩んだと思いますが、実際に作ってみて、他人の作品を見て、多くの気づきがあったと思います。その経験を今後の設計活動に生かしてほしいと思います。
建築表現Ⅲ	前期	安藤・君	1年生の授業からさらにステップアップを目指した授業です。より高度で、建築をいかに考え表現するかを目指した課題を用意していますが、さらに内容もモチーフも吟味し、スキルのレベルアップを目指した課題に向けた精査し改善していきたいと思っています。
アクションプログラムⅢ	前期	長森 正	授業評価アンケートのご協力ありがとうございました。①マンションデザイン実施コンペ、②建築構造力学Ⅰの補講小テストプログラム、③その他プログラムの3種類となりましたが、実施コンペは充実した内容であったとの評価を得ました。また補講小テストプログラムは理解不足を補い、建築構造力学Ⅰの定期試験に有効であったとの評価も得ました。選択で自主的に参加する授業でしたが、概ね好評との評価でした。次年度以降も幾つかのプログラムを検討していきます。
CAD演習Ⅲ(3年)	前期	佐藤善・伊藤裕	VectorWorksというソフトを使用しているCAD製図で、CAD操作や演習課題では授業についてきていましたが、自由設計課題になるとエスキースの段階で諦めてしまい、CAD操作に入る前に履修中止してしまう学生が多く見られました。CAD製図ではありますが、建築計画についてもっとサポートする必要があります。
建築表現Ⅴ	前期	安藤 淳一	課題の内容をさらに吟味して、表現力の向上につなげられるよう改善したいと思っています。

アクションプログラムⅤ	前期	君 興治	木造住宅の2階床伏図を解説、作図を行い、学生自身が他人の図面を見て、伏図を描くことができるように心掛けています。学生によっては深く学びたい学生もいるので、個別にも対応しています。今後も学生の理解度を確かめながら授業を進めていくようにしたいと思います。
アクションプログラムⅦ	前期	佐藤 善太郎	当科目は、授業以外の資格に関する勉強などに費やした時間を単位として認めるもので、建築士制度が大きく変わった昨今、その役割は建築士受験の機会が一部在学生にまで広がったこと、そして実際に在学中に二級建築士の資格を取得するものが現れたことなどにより、履修者は一頃よりも増えている。今後は、何らかの形で効率の良い資格取得の勉強法も模索していきたい。
球技Ⅰ(バスケボール)	前期	天野 雅斗	教職課程の学生がより技術を上げれるような授業内容に改善していきます。
球技Ⅱ(バレーボール)	前期	天野 雅斗	教職課程の学生がより技術を上げれるような授業内容に改善していきます。
球技Ⅳ(ソフトボール)	前期	米野 宏	時間配分の面で「あまり適切ではなかった」との回答が3%ほど確認されたので、今後の課題としたい。
イラスト漫画概論Ⅰ	前期	竹内 美帆	講義解説初年度ということで、学生の反応や興味関心をさぐりながらの授業となり、ご負担をおかけした部分があったかと思いますが、おおむね満足いただけたようでよかったです。イラストの授業をもう少し多くとってほしいというご意見があったので来年度はイラスト文化についても深く掘り下げて取り上げていこうと思います。授業の進め方については、資料やパワーポイントなど適切だったと評価していただけたようですが、ディスカッションの実施方法については、席移動の方法も含めて検討したいと思います。
社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	前期	塩崎 大輔	全体の傾向としては、概ね学生の満足感が高い結果となった。これは教育法の基礎・学習指導要領の解説という座学に加え、実際の教育現場における授業の視聴、教育現場を考えたグループワーク・フィールドワークなどをバランスよく行えた結果ではないかと考える。そのため、今後も知識だけでなく、体験を通じたアクティブな授業を継続していく。また、その中で指導力のより一層の向上が狙えるようカリキュラムを見直していく。
社会科・公民科教育法Ⅰ	前期	松下 守邦	教材(配布資料、テキスト)の適切さ、理解度の確認、授業の興味や関心について、「適切だった」「とても適切だった」の一定の評価を得ることができました。教材の選定、Teamsチャンネルのコマシラパス準備など、授業工夫をさらにすすめて参ります。
保健体育科教育法Ⅰ	前期	高井 雅一	グループまたはペアで話し合いをしたり、作業する場面を多くし、自主的に考えさせながら授業展開していった。互いに協力し合い成果があった半面、理解力不足学生へのアドバイスが足りなかったように感じました。次年度に向け、この反省を活かし、履修者が楽しく理解できる授業を工夫して進めたい。